

「くるみん」「えるぼし」認定通知書交付式を行いました!

栃木労働局(局長 川口 秀人)は、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業として、株式会社ホンダテクノフォート(代表取締役社長 坂本 淳氏)、株式会社ナカニシ(代表取締役社長 中西 英一氏)、株式会社キープキャリエール(代表取締役 原澤 直人氏)、栃木信用金庫(理事長 伏木 昌人氏)を、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業として、光工業株式会社(代表取締役 佐藤 直志氏)、株式会社アポニーズ(代表取締役 下田 明範氏)をそれぞれ認定し、令和8年2月16日に認定通知書交付式を行いました。



くるみん認定企業

(1列目右から3番目)

株式会社ホンダテクノフォート様

(1列目左から3番目)

株式会社ナカニシ様

(1列目左から2番目)

株式会社キープキャリエール様

(1列目左から1番目)

栃木信用金庫様

(2列目左から1番目)

栃木労働局長

えるぼし認定企業

(1列目右から2番目)

光工業株式会社様

(1列目右から1番目)

株式会社アポニーズ様

(2列目右から1番目)

雇用環境・均等室長



くるみん・えるぼし認定通知書交付式の後で、認定企業6社が子育て支援や女性活躍、働きやすい環境づくり等について、活発な意見交換を行いました。

新たに4社のくるみん認定企業が加わりました
～2025年度新基準認定企業が誕生しました！～



○従業員がライフイベントを迎えて安心して働き続けられるよう、フレックス勤務や短時間勤務、リモートワークなど柔軟な働き方を整備。育休取得者の事例紹介や復帰プランの策定により、男性の育休取得も着実に広がっている。コロナ禍を契機とした在宅勤務の浸透や、休暇・育休に対する意識の変化も後押しとなっている。
(株式会社ホンダテクノフォート様)

新基準認定

○長く働ける環境づくりに取り組み、三世代にわたり勤務する社員や社内結婚も見られ、定着率の高い職場である。社内モニターや紙媒体、人事からの個別周知など育休取得促進に向けた取り組みを行っている。保健師2名を相談窓口とし、利用率の高いトイレ近くに掲示しより効果的な周知を図った。コロナ禍以降、男性育休を前提とした業務計画が定着した。男性育休取得率は実績50%を達成している。
(株式会社ナカニシ様)



○人生のライフイベントを応援し、「事情があっても働ける会社」を目指している。若手社員が多く、女性の育休取得は20年前から始まり現在は100%、男性も2年前から取得が広がり3名が取得中。「お互い様」の文化を大切にし、休むことを当たり前とも申し訳ないことも捉えず、日頃から支え合う風土を重視。管理職自らが育休を取得することで、部下も安心して取得できる環境づくりを進めている。
(株式会社キープキャリエール様)

○創立100周年に向けた「チャレンジ100計画」の一環として、職員満足度向上に取り組んでいる。男性営業職の育休取得が課題だったが、女性人事担当の提案を受け、常務が対象者の上司に働きかけ、直属上司から育休取得を促すことで実現につながった。また、融資や照会業務のないサテライト店舗の店長や一般店舗でも2年前に女性支店長が誕生するなど積極的に女性管理職を育成している。今後は女性役員の登用を目指している。
(栃木信用金庫様)

新基準認定



新たに2社のえるぼし認定企業が加わりました
～日光市初の認定企業が誕生しました！～



○「当社に集う人が幸せになるように」という思いでやってきた、男女という基準ではなく個人差や適性を重視している。2025年から男性の育休にも力を入れており、3名の対象者の内2名取得。15年前に既に女性課長が2名おり、ホールモデルになってくれている。管理職セミナーに女性も積極的に参加している。(光工業株式会社様)

○「選ばれる会社、働いている人が長く働き続けられる会社」を目指している。女性が多い職場で、意欲能力ある人を積極的に後押しし、管理職に登用している。初の男性育休取得者が出てことで、育休を取得できる職場であると胸を張って言えるようになった。福利厚生は大企業に負けない水準を目指し、高齢者や障がい者も含め、一人ひとりが活躍できる環境づくりに取り組んでいる。(株式会社アポニーズ様)



栃木労働局は、仕事と育児の両立支援と女性活躍推進に向けた取組みを行うため『くるみん認定』『えるぼし認定』等の取得勧奨を引き続き実施します。

栃木労働局
雇用環境・均等室
TEL:028-633-2795

認定企業の取組等の詳細は、[くるみん認定 エルボシ認定](#) をクリック